

マリン薬局阿賀店の瀧口です。今年は例年よりも梅雨明けが早く、すでに暑い日が続いていますが、皆さん体調を崩されていませんか？水分補給と栄養のある食事、長く暑い夏を乗り切りましょう！因みに私はうなぎが苦手です。



脳機能と高麗人参

脳細胞を若返らせて**老人ぼけ**を防止する

急速に進行する高齢化社会にあって、痴呆（老人ぼけ）は医学的、社会的な取り組みが必要とされています。老人ぼけは脳の神経細胞の変性脱落や脳血流障害による**脳組織の損傷が原因**といわれ、発病すると日常生活も全くできないということになります。

高麗人参は脳梗塞の原因となる血栓を溶解し、血液が固まりにくくして閉塞を防ぐことも分かっています。脳機能の低下を防止し、活性化を促進する高麗人参は高齢者だけでなく受験生にも威力を発揮します！

愛媛大学医学部の研究グループが発表した報告では、動物実験を行いあらかじめ紅参を服用させておくと血流遮断による知能の低下や脳細胞の破壊が抑えられたという結果報告も出ています。



中国医学の歴史に詳しい近畿大学薬学部の久保道徳教授によると、今から1,100年ほど前、中国が梁（りょう）の時代に書かれた医学書『名医別録』に、高麗人参が治療薬として効く病気に『消渴（しょうかつ）』があげられているそうです。この消渴病とは、のどが渇く病気という意味で、今でいう糖尿病のことだとされています。こんなに昔から高麗人参は糖尿病の治療に用いられてきたのです。

糖尿病に対する動物実験によると、高麗人参には血糖をコントロールするインスリン様作用があるという報告もありますが、それほど強いものではありません。糖尿病患者の場合、血糖コントロールは食事、あるいは医師から処方されるお薬で行うべきでしょう。

しかし、糖尿病治療の本来の目標は**合併症の阻止**です。紅参には、血行改善・コレステロール値改善・血栓予防・動脈硬化の進行防止といった多方面の作用があり、毎日紅参を飲むだけで、糖尿病のいろいろな合併症をまとめて予防することができます。さらに、日常生活で、体がだるい、疲れやすい、手足が冷えるといった症状を改善するのも役立ちます。

糖尿病・肝臓病・などの慢性病では、紅参を常用するかどうかで経過のよしあしが大きく左右されると言っても過言ではないのです。